

市民球場

国体に向けた整備状況は

委員 平成25年に行われる国民体育大会に向けて、市民球場の現在の整備状況と今後の予定について聞きたい。

降から改修を行っておらず、著しい経年劣化が見られたため、安全性やバリアフリー化を考慮してスタンド等の改修を行った。今後は、平成24年度に本格的な内野・外野の整備などを行う予定である。

けやき並木の歩行者専用道路 今後の展開は

委員 平成22年度からけやき並木で日曜日、祝日に実施している歩行者専用道路は、にぎわいや市民の憩いの場を創出するとう意味で

試験的に一部の石積み撤去し、ベンチとして利用できる改修を考えている。また、府中駅南口第一地区の再開発等に合わせ、憩いの空間としての整備方法を検討していきたい。



▲歩行者専用道路(けやき並木)

高齢者保健福祉・介護保険事業計画 進捗状況は

委員 高齢者保健福祉・介護保険事業計画(第5期)策定の進捗状況を聞きたい。

高齢者支援課長補佐 平成22年度に高齢者等を対象にアンケート調査を実施し、その結果に基づき23年度に同計画推進協議会を4回開催した。協

議会では、施策体系や重点取組項目、パブリックコメントへ向けた素案のまとめ等を討議している。重点取組項目の内容には、高齢者の暮らし方や医療と介護の連携、認知症の方への対応、地域包括支援センターの機能充実がある。

今後は、介護保険制度におけるサービス料の見込みや保険料等を算定していく予定である。

災害対策用マンホールトイレ 配備状況と今後の計画は

委員 災害対策用マンホールトイレについて、市内における配備状況と今後の配備計画を聞きたい。

防災課長 現在、市立中学校11校、中6校に計27基、片町・朝日町・

矢崎町の防災倉庫に計23基、合計50基の災害対策用マンホールトイレを配備している。同トイレについては、多目的貯水槽と付随したものであると考えているため、今後の計画では平成23年度の第七中学校における多目的貯水槽の設置にあわせ、同トイレの配備を行うべく予定である。

また、残りの中学校4校についても今後配備を進めていきたいと考えている。

スクールソーシャルワーカー 増員をすすめる考えは

委員 スクールソーシャルワーカー(ワーカー)は、児童・生徒の心のケアという面で大事な役割を担っていると考える。平成22年度は、ワーカーが1名体制とのことだが、ワーカー同士で相談ができる体制も必要と考えるため、増員する考えはないか聞きたい。

指導室副主幹 増員については、心理士との連携を更に深め、地域の特性を踏まえた効果的な支援体制の構築を進めていく中で検討していきたいと考えている。

※スクールソーシャルワーカー：不登校などの児童・生徒が抱える問題に対し、福祉的視点から解決を図る専門家

総括

第5次府中市総合計画

委員 平成22年度で第5次府中市総合計画後期基本計画の前半が終了した。これまでの経緯の中で出てきた課題と今後の重点的施策について聞きたい。

政策総務部長 第5次府中市総合計画を着実に推進していくための課題としては、本市を取り巻く厳しい経済状況による市税等歳入の減少、少子高齢化の進行による社会保障費や扶助費の増大、多様化する市民ニーズへの対応等があると認識している。

今後は、未達成の重点プロジェクトについて、事業の実現に向けて効果的、効率的に取り組んでいきたいと考えている。

震災対応策

委員 東北地方太平洋沖地震の後、本市では災害対策本部がいち早く設置され対応が行われたが、市として震災対応には何が必要と感じたか。

環境安全部長 同地震は平日昼間の発生であったため、災害対策本部の設置や初動対応等は比較的速やかに対応できたと考えている。

しかしながら、市地域防災計画において避難所開設や帰宅困難者の対応などを定めていたが、実際の対応では難しい面もあったと考えている。今後は、避難所運営方法等の検証や防災訓練等の実施により被害を最小限にできる体制を構築していきたいと考えている。

国民健康保険税

委員 一般会計から国民健康保険特別会計への繰入金について、平成22年度決算を当初見込みと比較すると2.4%の減である。このことから再度計算し直し、保険税を引き下げるべきではないか。

費決算額は約139億9800万円、財政予測の約140億6000万円との比較では0.4%の減であり、ほぼ予測に近い決算額と考える。また、保険給付は22年度決算額の対前年度比が3.5%増となつていくことから増加傾向で推移していくと考えており、見込み違いとは考えていない。

ごみ改革の評価

委員 平成22年2月2日からダストボックスを撤去し、家庭ごみの有料化と戸別収集を実施したが、このごみ改革に対する市の評価を聞きたい。

環境安全部長 22年度のごみ量は前年対比で、家庭ごみが30%の減、資源ごみが51%の増で、総ごみ量が14%の減となつている。また、ごみ50%削減の目標に対する22年度未現在の達成状況としては38%の減となつている。

農地の保存

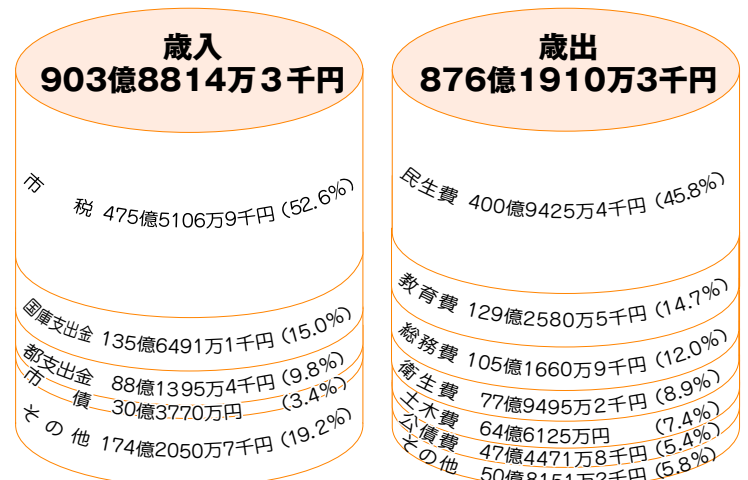
委員 平成17年に策定された市農業振興計画では、50年先にも府中に農地を残すことを目的としている。農地、農業を残す方策としては、既に公有化された未利用地利用や生産緑地の解除にあわせて緑地の公有化を図ること等の取組も必要と思うが、市の考えは。

市民生活部長 都市農地は農産物を供給するほか、景観の保全や防災空間の提供など様々な役割を担っている。このことから、学校農園や市民農園事業の実施以外にも、具体的な施策について関係課による協議会で検討を進めており、公有化等についてもその中で、検討していきたいと考えている。

平成22年度各会計別歳入歳出決算の状況

Table with 6 columns: 区分, 最終予算額, 収入済額, 収入率(%), 支出済額, 執行率(%). Rows include 一般会計 and 特別会計 with various sub-items like 国民健康保険, 後期高齢者医療, etc.

平成22年度一般会計決算款(科目)別内訳



※各会計の決算額は、千円未満を切り捨てた額です。

※各科目の決算額は、千円未満を切り捨てた額です。